

李登輝元総統のご逝去の報に接し、謹んでお悔やみ申し上げます。

1999年の9月、台湾大地震の際、台中日本人学校も大きな被害を受けました。この時、李登輝様ご本人が、本校の被害状況を視察されたと聞いております。その後、李登輝様のご配意によりすぐに用地が見つかり、現在の地に台中日本人学校再建の一步を踏み出すことができました。

2010年11月、本校再建十周年記念式典を開催の際にも、李登輝様ご本人にご臨席いただきご講演も賜りました。日本を愛してくださっていることがよくわかり、温かいお人柄がにじみ出るお話であったと聞いております。私たちにとりまして李登輝様は、困っていた時に温かい手を差し伸べてくださり、助けてくださった大恩人です。本校正門表札の校名の書は李登輝様の揮毫によるものです。そのオリジナルの毛筆の書は、校長室に掲げさせていただいております。私も李登輝様のご存命の内に、直にお話を伺いたかったと残念でなりません。私たちは、李登輝様からいただいたご恩をいつまでも語り継いで参りたいと思います。

ご遺族の皆様をはじめ、台湾の方々や日本を含め各関係者の皆様方のご心痛はいかばかりかと拝察いたします。

李登輝様のご冥福をお祈り申し上げます。



台中日本人学校長 栗田 友季子